

保護者様

伊予市立下灘小学校長 伊賀上 純

学校教育に関するアンケート結果の報告について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のことと存じます。平素は、本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

12月には、「学校教育に関するアンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果と来年度に向けての改善点がまとまりましたので、お知らせいたします。今後も家庭・地域と連携しながら、子どもたちの健やかな成長のために努力してまいりたいと思います。皆様の御理解・御協力をよろしく願いいたします。

なお、この学校評価の報告書はホームページにも掲載していますので御覧ください。

記

【「しっかりと考える子」をはぐくむために】

- 学習ルールが定着し、落ち着いて学習に取り組んでいます。後期には、自分の学習態度を厳しい目で振り返り、今まで以上に意欲的に学習に取り組もうとする態度が育ってきました。
- 毎朝取り組む「じっくりタイム」や週に一度の反復学習「ぴかぴかタイム」の成果が表れ、児童に、楽しい・頑張った・やればできるという自己肯定感が育ちつつあります。今後、更なる学力の定着につながるように、タブレット等のICTを活用する機会を増やし、一人一人の実態に応じた「分かる授業」を推進していきます。
- 児童が読書に興味・関心を持って取り組めるように、「読書ビンゴ」をしたり、図書サービス「まなぼん」を活用したりするなどして、様々な本に親しむ機会を増やしてきました。その結果、読書に進んで取り組む児童が増えつつありますが、個人差が大きいのが現状です。御家庭での音読や読書の奨励に御協力をお願いします。

【「もくもくとがんばる子」をはぐくむために】

- 望ましい生活習慣が身に付きつつあります。ただ、習い事があつたり、楽しいこと（テレビ・オンラインゲーム等）を優先させたりするなどして、決められた時刻を守れず、寝る時刻が遅くなっている児童もいるようです。今後は、規則正しい生活が送れるように「生活リズムチェック」を活用して生活習慣にアドバイスをするなど支援をしていきます。
- ITスタジアムや外遊び（サッカーや縄跳びなど）に積極的に取り組み、体力の向上が見られます。今後も体育科の授業を充実させるとともに、一人一人の児童にあった体力づくりを支援していきます。
- 下灘太鼓の練習や行事への出演を通して、下灘太鼓の伝統や歴史を知り、下灘を誇りに思っている児童が多くいます。来年度は、下灘小学校創立150周年にあたります。さらに地域の方と触れ合い、地域を大切にしようとする思いを育てていきます。そして、地域の一員であるという自覚を高めていけるようにしていきます。

【「なかよく明るい子」をはぐくむために】

- 他校や地域の方との交流を継続することで、互いの良さを認め合い、支え合う仲間づくり

ができてきています。また、相手への思いやりとやさしさのある言動を心掛ける心情も育ってきています。学習リーダーも少しずつ育っていて、自分たちで自律して行動しようとする態度も見られ始めました。今後も、この態度が育っていくように、学年に応じた支援を続けていきます。

- 地域の方や来校者に進んで気持ちの良い挨拶をする児童が増えてきました。後期には、児童は自分自身の挨拶を振り返り、校外での挨拶が不十分なことに気付いたようです。今後は、「いつでも」「どこでも」「だれにでも」を合言葉に、さらに挨拶ができる児童を育てていきます。

【「だんだんのびる子」をはぐくむために】

- 児童と教職員、保護者との距離感が近く、親しい人間関係から、一人一人の心に寄り添った対応を心掛けていて、児童一人一人の自尊感情が育ってきました。一方で、時と場に応じた適切な言葉遣いができない場面も見られます。相手意識を大切にして、適切な言葉遣いできたときには称揚するなどして、日常生活の中で自然に適切な言葉遣いができるような環境を整えていきます。

【管理・運営の徹底を図るために】

- 会計事務や情報管理は、複数の教職員で互いにチェックし合い、遺漏がないように行っています。不祥事防止のため、定期的に不祥事防止チェックを実施し、常に「全体の奉仕者」である意識を持てるように職員会等でサービスの順守を促します。
- 児童にとって「学校が楽しい」ものであるためには、教師が生き生きとしていなければならないことを自覚し、教師一人一人が自分の働き方についてマネジメントできるように啓発を進めていきます。

【学校関係者評価委員の皆様からの御意見】

令和6年2月16日（金）に、第2回学校関係者評価委員会が開かれ、以下のような御意見が出されました。

- (1) 学習発表会や体験・交流活動等の教育の場で、児童の個性や特技を生かした教育活動ができている。令和6年度は下灘小学校開校150周年目に当たる。この記念行事を中心に据えて、さらに児童の個性や特技を生かした様々な教育活動に挑戦して取り組んでほしい。そして、「地域とともにある学校」、「学校を核とした地域づくりをする学校」の実現を目指して取組を進めてほしい。
- (2) 学童クラブでも地震や火災などの災害に備えた避難訓練を行っている。だが、1月に発生した能登半島地震の被災状況を見て、津波が発生した際には、小学校への避難も考えている。地域では、災害発生時には独居老人の安否確認も必要不可欠である。今後は、南海トラフ地震を想定して、学校を含めた地域全体の避難訓練や防災のあり方を検討していく必要もあるのではないだろうか。また、他市においては防災用のヘルメットが学校に配備されているところもあると聞いている。伊予市に防災用のヘルメットの配備を要請してほしい。